

患者さんへ

鼻腔形態改善手術に対する治療効果の後方視的検討

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2016年4月～2025年7月までに耳鼻咽喉科・頭頸部外科で鼻腔形態改善手術を受けられた方を対象としています。
2 研究目的・方法	<p>今までの手術法で症状の改善が難しかった鼻中隔前方部分の彎曲に対して、近年では鼻腔形態改善手術の新たな手術方法が普及してきており、鼻腔の形態にあわせた適切な治療法の選択がより重要となっています。</p> <p>そこで、本研究では診療録の情報から手術前後の情報を集積し検討することにより、最適な手術法の選択や治療効果の向上につなげることを目的とします。</p> <p>研究の期間：施設院長許可（2024年11月予定）後～2026年3月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	<ul style="list-style-type: none">・ 研究対象者背景（年齢、性別 等）・ 病歴情報（原疾患、既往症、併存疾患 等）・ 術前診察・検査所見（鼻症状スコア、外鼻形態、鼻内所見、血液生化学的検査、内視鏡検査、嗅覚検査、画像検査 等）・ 術中所見、施行術式 等・ 術後経過（症状スコア、外鼻形態、鼻内所見、内視鏡検査、画像検査 等）
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 札幌東徳洲会病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 駒林 優樹（研究責任者） 住所：札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話番号：011-722-1110（代表）</p>